

2026年5月15日

各位

会社名 株式会社 Aoba-BBT  
 代表者 代表取締役社長 柴田 巖  
 (コード：2464 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 常務執行役員 (IR 広報) 宇野 令一郎  
 電話番号 03-5860-5530

## 2026年3月期連結業績予想と当期実績値の差異に関するお知らせ

2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 2026年3月期連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
( 単 位 )	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結業績予想 (A)	8,250	606	603	429	32.63
連結実績値 (B)	7,668	455	463	274	21.7
増減額 (B-A)	△581	△151	△139	△155	
増減率 (%)	△7.0	△25.0	△23.2	△36.2	

### 2. 差異が生じた理由

コロナ禍を経て、大学教育（例、4年間をかけて学士号を取得する仕組み）全体に対する経済価値、教育価値が相対的に減少した結果、BBT 大学経営学部の2025年4月入学者数が計画以上に減少いたしました。また、株式会社 IT プレナーズジャパン・アジアパシフィックは、前期実施した大手 IT 企業向けリスクリング案件の消滅の影響を受け、同社の収益性が予想値よりも低下いたしました。これらの結果、繰延税金資産の回収可能性の見直し等により法人税等の金額が想定を上回ったことから、親会社株主に帰属する当期純利益が連結業績予想を下回ることとなりました。

一方で、当連結会計年度の連結売上高は、過去最高値であった前期に次いで過去2番目に高い水準を維持しております。また、連結営業利益についても2022年3月期に次ぐ過去2番目の利益額を確保しており、グループ全体としては概ね堅調な事業運営を継続しております。

### 3. 2027年3月期の連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
( 単 位 )	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2027年3月期 連結業績予想	7,968	628	627	393	31.11

プラットフォームサービス事業におきましては、2013年の参入以来、国内最大級のインターナショナルスクールグループへと成長を遂げました。

前連結会計年度（2026年3月期）は、アオバジャパン・インターナショナルスクールにおいて過去最高となる生徒を迎え、授業料等の固定収入が大幅に増加したほか、アオバジャパン・バイリンガルプリスクールの利益率改善やムサシインターナショナルスクールの収益安定化により、過去最高の売上高および営業利益を達成いたしました。

今期は、インターナショナルスクール教育への需要が引き続き堅調に増加していることから、当該領域におけるオンライン教育の提供強化と、東京都心や北陸地方を中心とする通学型キャンパスの収容定員の物理的拡大の両面に投資し、売上・収益の両面での拡大を計画しております。

リカレント教育事業におきましては、BBT 大学院（MBA）が完全オンラインによる実践的スキルの訴求により回復基調にあるほか、BOND-BBT MBA プログラムが「専門実践教育訓練給付金」の対象講座に認定されたことで、受講者数は高水準で推移しております。また、法人向け人材育成サービスにおいても、次世代経営人材育成研修に対する需要が引き続き高まっております。

株式会社 IT プレナーズジャパン・アジアパシフィックにおいても、従来の IT 領域に加え、AI を活用した生産性の向上や組織の継続的なDXに関する需要が上昇基調であることから、堅実な売上と営業利益の積み上げを想定しております。

今期は、これら地域展開の進展、基幹プログラムの堅調な推移、および法人需要の取り込みを成長の軸とし、さらなる企業価値の向上に邁進してまいります。

※上記における目標数値は、本お知らせ作成時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績は、外部環境の変化等による様々な要因の変化により、記載内容と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

以 上